

火災保険による太陽光発電設備の損害への備え

一般社団法人 日本損害保険協会
損害保険ジャパン株式会社
リテール商品業務部火災保険グループ

～本日の流れ～

はじめに：当会社・講師紹介

- 1．講演の目的
- 2．個人向け火災保険の基本
- 3．個人住宅向けの太陽光発電設備に関する補償について
- 4．事業者向けの太陽光発電設備の補償について
- 5．本日のまとめ

当社の紹介 損害保険ジャパン株式会社



設立：1887年(明治20年)7月
創業：1888年(明治21年)10月
資本金：700億円
総資産：7兆1,660億円
正味収入保険料：2兆1,847億円(2019年度)
取締役社長：西澤 敬二
社員数：24,689人
代理店数：50,719店
本社所在地：〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
国内拠点数※：支店・営業部126、営業課・支社・営業所524、保険金サービス拠点265
海外拠点数：30か国・地域

※2020年4月1日現在

講師：西澤 達彦（にしざわ たつひこ）
リテール商品業務部火災保険グループ

日本損害保険協会の紹介

一般社団法人 日本損害保険協会

■事業の目的

わが国における損害保険業の健全な発展及び信頼性の向上を図り、もって安心かつ安全な社会の形成に寄与することを目的としている。

■主な事業内容

- (1) 損害保険の普及啓発及び理解促進に資する事業
- (2) 損害保険契約者等からの相談対応、苦情及び紛争の解決に資する事業
- (3) 損害保険業の業務品質の向上に資する事業
- (4) 損害保険業の基盤整備に資する事業
- (5) 事故、災害及び犯罪の防止又は軽減に資する事業
- (6) 損害保険業に関する研修、試験及び認定等の事業

■会員会社（28社50音順、2020年4月1日現在）

損害保険ジャパン株式会社 他

1. 講演の目的

目的：火災保険を通してリスクに備える

①太陽光発電設備を守る火災保険について理解すること

⇒そのために火災保険が補償する基本的な内容について理解

②太陽光発電設備に関する補償について知ること

⇒補償内容について太陽光発電設備に焦点を当て理解

火災保険について

火災保険は一般的に「個人向け」の商品と「事業者向け」の商品に大別される

【個人向け】

住居部分のある建物とその
収容動産を対象

<例>

- ・ 個人の住宅
- ・ 1階が店舗事務所、2階が住居
といった事業部分ありの住宅

【事業者向け】

住居部分の無い建物とその
収容動産等を対象

<例>

- ・ 事務所建物（住居部分無し）
- ・ 工場

本日は【個人向け火災保険】をメインにお話します

2. 個人向け火災保険の基本

個人向け火災保険の概要

すまいに関する保険

火災保険

火災をはじめ、落雷や破裂・爆発、風災、雪災、盗難などにより、建物や家財に損害が生じた場合に保険金が支払われます。

地震保険

地震や噴火、またはこれらによる津波を原因として、居住用建物や家財に損害が生じた場合に保険金が支払われます。

地震や噴火、またはこれらによる津波を原因とする損害については、火災保険では補償されません。

※地震保険に関する内容は本日より取り上げません。ご加入の保険代理店等にお問い合わせください。

火災保険の加入時のポイント（補償の対象を選ぶ）

■補償の対象を選択

- ・建物と家財
- ・建物のみ
- ・家財のみ

から選択

建物

を補償



家財

を補償



※「建物」には、敷地内の物置や車庫、建物の付属設備も含まれる。

建物付属の太陽光発電設備は
「建物」に含まれる

火災保険の加入時のポイント（評価・保険金額の設定）

■ 補償の対象を評価

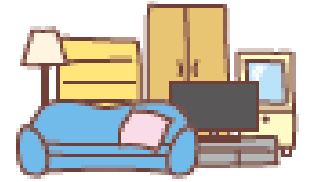
- ・「再調達価額※」で評価算出
- ※ 新しく買いなおすための費用
- ・ 付属設備を含んで算出

建物



評価額：2,500万円

家財



評価額：1,300万円

太陽光発電設備を含んだ金額で算出

■ 保険金額を設定

- ・ 評価額を参考に、保険の限度額（保険金額）を設定します。

建物：2,500万円

家財：1,300万円

※ 「評価額」を超えた「保険金額」を設定することはできません。

火災保険の補償内容

■ 火災など



火災



落雷



破裂・爆発

■ 風水災など



風災・ひょう災
・雪災



水災

■ その他



外部からの物体の
落下・飛来・衝突など



漏水などによる
水濡れ



騒擾・集団行動に
伴う暴力行為



盗難による盗取・
損傷・汚損



不測かつ突発的な
事故

**火災以外の事故
についても
火災保険は補償**

火災保険の支払内容ランキング

実際のデータで必要な備えを考えましょう！

〈2018年度個人用火災総合保険 保険金支払実績〉より

事故件数ランキング

事故種別	
水災・風災・雪災など	第1位
不測かつ突発的な事故 (破損・汚損など)	第2位
漏水などによる水濡れ	第3位
建物外部からの物体の落下・飛来・衝突など	第4位
落 雷	第5位
盗難による盗取・損傷・汚損	第6位
火 災	第7位

平均支払額ランキング

事故種別	
火 災	
水災・風災・雪災など	
漏水などによる水濡れ	
盗難による盗取・損傷・汚損	
落 雷	
建物外部からの物体の落下・飛来・衝突など	
不測かつ突発的な事故(破損・汚損など)	

たとえば

火災による
全損時の建物
平均支払額

1,324
万円



※ 平均支払額とは、2018年度に個人用火災総合保険でお支払いした保険金の支払額の平均額です。

※ ランキングには地震保険の保険金支払実績(事故件数、平均支払額)は含まれません。

支払事例①：水災事故



出典：災害写真データベース

大雨により自宅が2階の床
まで浸水。

被害額
約4,300万円

※写真はイメージ

支払事例②：不測かつ突発的な事故



出典：災害写真データベース

大掃除中、荷物搬出時に荷物があたり玄関扉ガラスが破損。

被害額
約 190万円

※写真はイメージ

火災保険の支払事例

支払事例③：漏水などによる水濡れ事故

水道管破裂による建物と家財の水濡れ損害。

被害額・・・約2,070万円

支払事例④：落雷事故

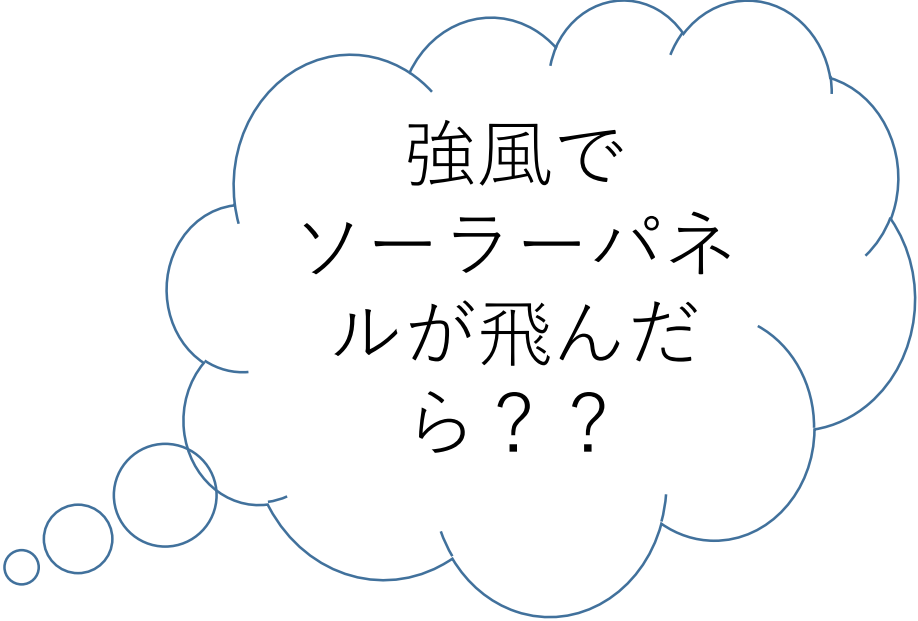
落雷による太陽光設備の被害事故は多数

落雷で太陽光パネルとパワーコンディショナーを破損。

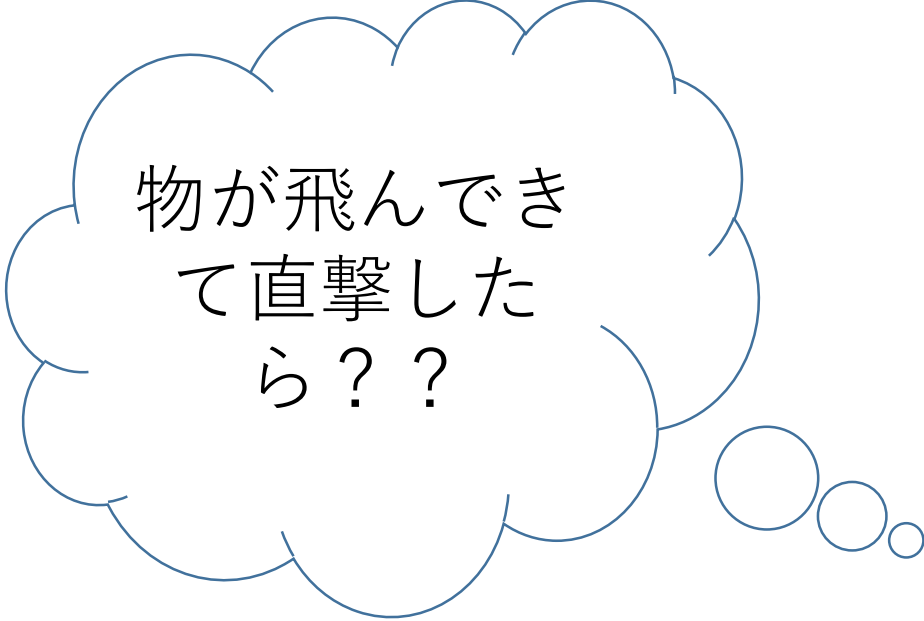
被害額・・・約270万円

想像してみてください

例えば、屋根に設置のソーラーパネルについて、大型の台風が直撃した場合を想像してみてください。



強風で
ソーラーパネ
ルが飛んだ
ら??



物が飛んでき
て直撃した
ら??

損害は無いと言い切れますか??

3. 個人住宅向け太陽光発電設備に関する 火災保険の補償について

太陽光発電設備は火災保険で補償されている

■ 太陽光発電設備の補償

火災保険の建物の一部として加入



**加入している火災保険の補償内容で
支払される**

おさらい・・・火災保険の補償内容

■火災など



火災



落雷



破裂・爆発

■風水災など



風災・ひょう災
・雪災



水災

■その他



外部からの物体の
落下・飛来・衝突など



漏水などによる
水濡れ



騒擾・集団行動に
伴う暴力行為



盗難による盗取・
損傷・汚損



不測かつ突発的な
事故

＜太陽光発電設備の補償＞
建物に含んで加入すること
で、これらの補償が対象

■ 対象となる事故

特約として追加しない
と対象とならない
補償内容！！

建物に付加された設備について

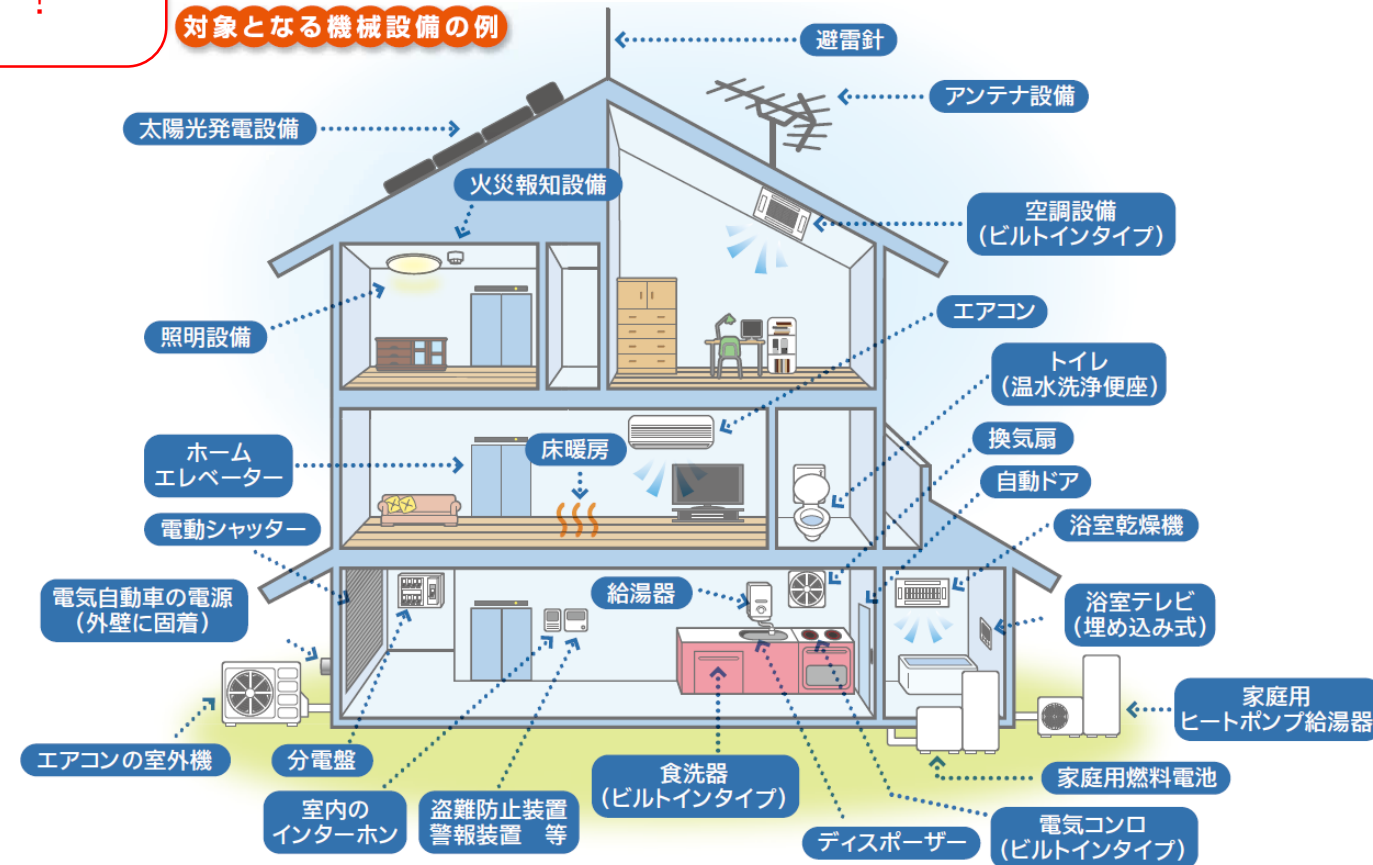
- ・ショートや過電流など（電氣的事故）
- ・機械内の要因による焼付けなど（機械的の事故）

により損害が生じた場合に補償する。

【支払事例】

太陽光発電設備のパワコン一機がショートが原因で作動不可となった事故

⇒支払保険金額：約79.2万円



注) 電氣的・機械的的事故特約は販売する保険会社によってセットする条件が異なります。

■ 対象となる事故

太陽光発電システムに火災、風災、雪災、落雷などによる損害が発生。

すると、売電収入が入ってこない。。。

⇒損害により失った売電収入を「損害」として補償



出典：太陽光発電協会パンフレット



売電収入の補償（特約）

■ 加入方法

- ・ 補償する限度額を設定

- ① 「売電収入の月額」を決める
- ② 「補償する月数（約定復旧期間）」を決める

<加入例> ~売電収入の月額が5万円~

東京都の木造住宅（築10年）で、保険金額を建物2,500万円、
家財1,300万円で一般的な補償内容※で1年間加入した場合
⇒火災保険料：月々4,790円

（※当社のベーシックIプラン、自己負担なし、臨時費用なし）

売電収入特約付帯：月額5万円、補償する月数6か月

追加する月額保険料：**60円**



出典：太陽光発電協会パンフレット



注）売電収入特約は販売する保険会社によってセットする条件が異なります。

まとめ ～太陽光発電設備に関する火災保険～

■ 太陽光発電設備の補償

① 外的な事故に備える

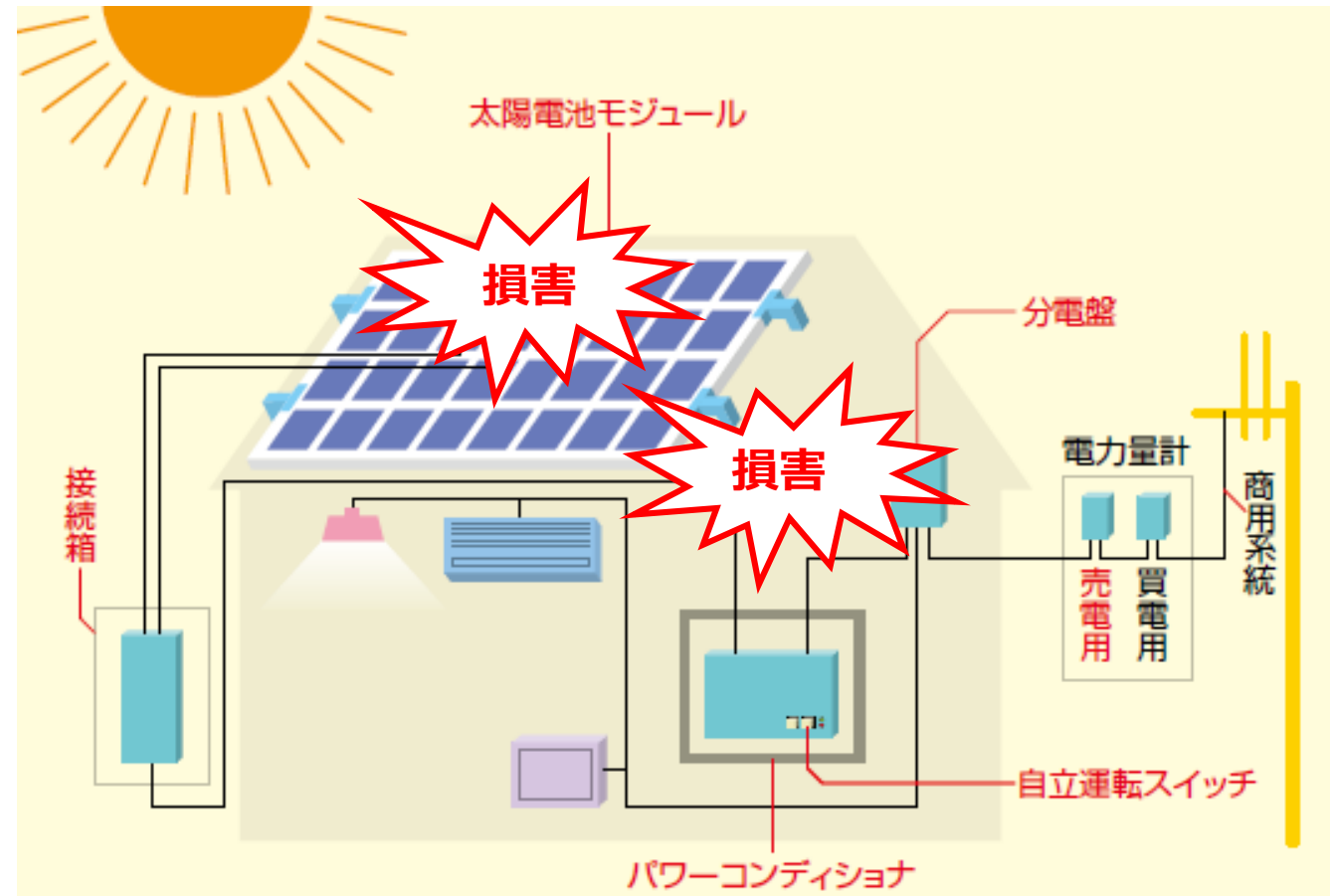
⇒加入している火災保険の内容で補償される

② 電氣的・機械的事故に備える

⇒ショートや過電流による損害も電氣的・機械的事故」で補償できる

③ 売電収入の損失に備える

⇒電力が作れなくなり、売電できなくなった損害も売電収入補償で補償できる



出典：太陽光発電協会パンフレット

4. 事業者向けの太陽光発電設備の 補償について

太陽光発電業者のリスク

物的損害リスク



【火災保険】

企業総合補償保険
財物補償条項

利益損害リスク



【火災保険】

企業総合補償保険
費用・利益補償条項

賠償リスク



【施設賠償責任保険】

■ 事業性建物に付属している場合

建物の一部として太陽光発電設備を補償
(個人の住宅を同じ加入形態)

⇒例) 自社ビルの屋上に太陽光パネルを設置して売電事業を行っているケースなど

■ 太陽光発電設備が独立して設置されている場合

太陽光発電設備自体を単体で火災保険で補償

⇒例) 山の斜面のメガソーラー発電設備のケースなど

事故例①

落雷により、太陽光パネル（2,640枚）および、パワーコンディショナー20台が損傷を受け、発電停止。（損害額約1億円）

**火災保険で支払（落雷の補償）
財物損害と売電収入損害の両方を補償**

事故例②

高潮により太陽光発電設備が水没。
主にモジュールに損傷を受け、発電中止。
(損害額約1.4億円)

火災保険で支払 (水災の補償)
財物損害と売電収入損害の両方を補償

- 火災保険の補償内容の確認
(建物の一部として加入することで補償対象)
- 太陽光発電設備について手厚い補償を希望する場合は
特約により補償追加
(電氣的・機械的事故補償特約、売電収入特約)
- 事業者向けの火災保険も基本は個人向けと同じ

ご清聴ありがとうございました
